

第 90 号

発行年月日  
令和5年9月11日

青陵中学校区

青少年健全育成会だより

発行所  
青陵中学校区青少年健全育成会  
事務局  
豊橋市立青陵中学校  
所在地  
豊橋市牛川町字洗島108-1 ☎54-2165

# 令和5年度 青少年健全育成会役員



会長  
佐藤晴夫  
(旭小校区自治会長)

1966年、小中学校単位に青少年健全育成会が結成されてから57年目を迎えています。

言うまでもなく、青少年の健全育成のため、自治会、保護司、民生児童委員、更生保護女性会等の役員と小中学校区の青少年健全育成会が中心となり、各種活動を行っています。主な活動は、青少年の非行問題に取り組む市民運動として、毎年7月に豊橋駅前にて「社会を明るくする運動」として、チラシ配布などを行っています。

また、毎年、青陵中学校において講師をお招きして「健全育成会講演会」を行っています。本年度は、豊橋市青少年センターで副センター長を務めていらっしゃる朝倉三恵様に、「小さな命のメッセージ」という題で講演をしていただきました。その一部を紹介すると、長男の将(まさし)君が2歳の頃、小児がんと診断され、5年間の闘病生活の末、天国へ旅立った、というお話でした。

特に朝倉様が強調されていたことは、朝起きてから朝食を済ませ、学校へ登校、帰宅時には「ただいま」という、毎日のなんでもない日常生活がなんと幸せなことであるか。また、家族や学校の先生などの周りの人たちに感謝しながら、日々の生活ができていくことの幸福感をもってもらいたい、ということでした。今回の講演で、きっと多くの生徒たちが感動したのではないかと思います。

青陵中学校区青少年健全育成会として、犯罪や非行のない、安全で安心な日常生活ができるように、さまざまなコミュニティを通じて、生徒たちを見守る活動に力を注ぎたいと思います。

- |      |  |                             |
|------|--|-----------------------------|
| 会長   | 旭小学校区自治会長  | 佐藤晴夫                        |
| 副会長  | 東田小学校区自治会長<br>牛川小学校区自治会長<br>下条小学校区自治会長<br>青陵中学校PTA会長 | 林正幸<br>岩田博之<br>木下由光<br>星野好史 |
| 会計監査 | 前東田小学校区自治会長<br>旭小学校区副自治会長                            | 林正幸<br>小林稔                  |

## 《専門委員会》

- 広報部 部長 林正幸  
副部長 清水良彦  
・育成会報、チラシ発行、看板設置
- 指導部 部長 佐藤晴夫  
副部長 佐藤不二男  
・校外生活における児童生徒の健全化
- 渉外部 部長 岩田博之  
副部長 守田裕史  
・関連諸機関との連携
- 環境部 部長 木下由光  
副部長 廣永岩男  
・危険箇所の点検、悪書追放

## 健全育成会講演会

講師：朝倉三恵様

### 小さな命のメッセージ～生まれてくれてありがとう～

朝倉さんの長男、将(まさし)くんは、2才で小児がんの一種である神経芽腫と診断され、以後5年間入退院を繰り返しました。将くんはどんなときでも「ありがとう」を忘れず、あきらめない姿で闘病生活を送りました。将くんを支える朝倉さん、将くんのがんが大好きな二人の弟の姿が思い浮かぶお話でした。将くんは天国へと旅立ちましたが、朝倉さんのお話を通して、たくさんの感動と前向きに生きるパワーを青陵中の生徒にも与えていただきました。

#### 『小さな命のメッセージ』 3年

「おい、ハゲ」「障害だろ、家に帰れ」

僕にとって、学校に行くこと、勉強をすることはあたりまえのことです。友達と楽しく話すことは、僕の日常です。しかし、話を聞いて、そのような言葉は、友達と楽しく話中で飛び交っているものだなと思いました。世の中には、重い病気にかかってしまった人、心の病気にかかってしまった人もいて、そして、自分で自分の生涯を終えてしまう人もいます。そのような人々にとって僕たちのあたりまえは、とても幸せなことなのだなと感じました。

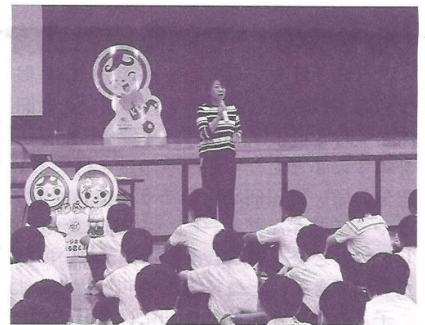
僕は今年で義務教育を終え、社会人へと近づいていきます。人生、うまくいかないことが必ずあると思いますが、そのようなときには家族などの相談しやすい人に相談し、自分一人で悩みを抱えることがないようにしたいです。また、あたりまえのことではあるけれども、苦しい思いをしている人が身近にいることを忘れずに友達と接していきたいです。

#### 『生きること』 3年

講演会は「命を大切に生きていこう」という内容だったと感じました。

今、「面倒だな」「疲れる」などのマイナスな考えで学校に通っていたり、生きるのが疲れると考えたりしている人は少なくないと思います。実際、私も、毎日何十分も歩いて登校することや、自分とは合わない人との関係に疲れてしまい、もう嫌だと思ふときもあります。

でも、学校に通って、友達と話せて、遊べて、家族のいる家に帰って一緒に食事ができるということは、私にとってあたりまえだけれど、それはとても幸せなことだと言いつけられたような気がしました。自由に動けるし、おいしいものを食べることもできるという、ひとつひとつのことを、一つでもできない方々が世界にどれだけいるのだろうと思うと、心が痛みます。きれいごとのように聞こえるかもしれないけれど、こうして今「生きている」奇跡に感謝しようと、改めて強く思いました。



# 地域にはぐくまれ、地域に学ぶ子どもたち

## 【交通安全推進決起大会】…東田小学校…▶

毎年本校では、交通安全への意識と、自らの命を守ろうとする気持ちを高めることを目標に「交通安全推進決起大会」を行っています。

ここ3年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「Teams」を使ってオンラインで開催していましたが、今年度、久しぶりに全校児童が体育館に集まって開催することができました。また、自治会が大会を主催し、来賓として豊橋警察署のかたにもお越しいただきました。大会の中では、交通安全標語で最優秀に選ばれた児童2名が標語とその標語に込めた思いを発表しました。さらに、6年生が夢たま学習（総合的な学習の時間）で学んだことを全校児童に向けて発表しました。

この行事を通して、地域と学校が協力し交通安全に対する意識を高めていこうという思いを共有することができました。今後も「交通安全推進決起大会」で学んだことをいかし、地域と学校が連携して児童の安全を見守ってまいります。

## 【自助と共助で命を守ろう!】…下条小学校…▼



今年の6月、災害級の大雨により下条校区では冠水した地区があり、家屋への浸水や農作物に被害が出ました。下条小学校では、昨年度から地震や洪水に備えて校区防災訓練を行っています。今年度は、6年生が総合的な学習の時間で防災学習に取り組み、非常持ち出し袋や保存食について劇をまじえて発表したり、防災クイズ

を地域の方たちに出題したりしました。子どもたちは、学習を通して自助と共助や、地域の方たちへ発信していく大切さを学びました。

その後、全校児童と保護者で通学団ごとに分かれ、地域の方たちとともに、起震車体験、煙体験などを行ったり、防災危機管理課の方の話を伺ったりしました。避難所生活の実際の様子や簡易トイレの設営などの体験もすることができました。

学校・家庭・地域が一体となって行うことで、防災意識が高まり、いつ起こってもおかしくない南海トラフ地震や豪雨災害への備えについて学びを深める大変有意義な活動となっています。

## 【心をつないで明るい社会をつくろう】…旭小学校…▶

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間でした。その一環として、旭小学校では全校の子どもたちがそれぞれの思いを短冊に書き、七夕の笹に飾っています。7月6日には、自治会や保護司会、更生保護女性会の方々と一緒に、1・2年生の子どもたちが飾りつけを行いました。副自治会長さんの話の後、自分の書いた短冊を大切に持ち、丁寧に飾っていく子どもたち。「こうやって結ぶんだよ」「上手に飾れたね」と声をかけてもらいながら、楽しいひとときを過ごしました。きれいに飾りつけられた笹を見て、子どもたちが「きれいだね」「願いが叶うといいね」と喜ぶ姿が見られました。

子どもたちが書いた短冊には自分の願いだけではなく、「みんなの願いが叶いますように」「笑顔いっぱいの旭校区になりますように」と明るく平和な社会への願いが書かれていました。これからも、地域の方々と共に心をつないで、明るい社会づくりに貢献できるような旭子を育む取り組みを行っていききたいと思えます。



## ◀【みんなが住みやすい牛川校区に】…牛川小学校…

牛川小学校は創立150周年を迎えました。6年生は総合的な学習（うしかわ学習）で、まちづくりについて追究しています。初めに、現在と過去の校区の姿を見比べ、子どもたちはさまざまな変化に気づきました。そこで、まちづくりに関わっている市役所の方の話を聞くことになりました。そのなかでいろいろな人が牛川校区をより住みやすいまちにしようと努力をして、現在の姿があることを知りました。子どもたちは、自分たちを育ててくれた牛川校区にできることが何かないかと考えました。みんなが住みやすい牛川校区にするために、新しくできる公園が、誰もが利用しやすい公園となるように、案を模索しています。そのために、すでに牛川校区にある公園を見学したり、公園を実際に利用している方にインタビューをしたりしています。これからの学習で、いろいろな地域の方がまちづくりにかかわっていること、地域の支えが自分たちを育ててくれたことに気づき、子どもたちがまちづくりに参画する姿に期待しています。